

## 地区防災ガイド 聚富地区会議録

【日 時】 平成 29 年 9 月 21 日（木） 18 時 30 分～  
【会 場】 聚富会館  
【参加人数】 8 人

### 津波浸水想定変更に伴う検証について

---（支所から説明）---

○平成 24 年度、地域の皆さんで協議し、避難場所や避難経路を決定したが、浸水想定等が変わったため、あらためて検証いただきたい。

（津波浸水想定がどの様になったのか『映像（CG）』確認・説明）  
（図面を基に「津波浸水想定」を確認・説明）

---（参加者から）---

- 知津狩川河口は、波によって物が堆積して詰まりやすいため、それも考慮に入れる必要がある。
- 図面中の赤くなった分だけ浸水エリアが広がっている。
- 避難経路は、ほとんど変わらないだろう。
- 浸水エリアが広がったことにより、水が走ってくるので、一度、知津狩に抜けてから上がった方が良いのかもしれないが、時間の事もあるため、ケースバイケース。
- 市道本通仲浜線の方向が 2 つとも冬、開通しているため、歩いても逃げることは可能。
- 知津狩付近の逆行している避難経路（1）を反対にするべきではないか（別紙避難経路（現在）の図面参照）

（1）（別紙）の矢印付近が（浸水）エリアに入ったことによって、この部分だけが反対側への避難という意見があった件について、全員が了承。

### 土砂災害警戒区域等の追加指定に伴う検証について

---（支所から説明）---

（図面を基に「土砂災害警戒区域」等を確認・説明）

---（参加者から）---

○虹が原地区について、両方の川に砂が堆積し、川が機能していない。ユンボか何かで削る等を要する。草刈は、地域住民がやっているが、あくまで草刈であって、中はできない。

全部掘らなかったら、虹が原地区について浸水してしまうだろうとの意見が出された。 ※前回の話し合いでも提示されていた。

### **その他の意見**（参加者から）

○全部を備蓄に頼るのではなく、水なり米なりを自分で備蓄しておく、何かあったときに持ち込むとか、意識改革をしていかねばならない

○そこに行けば全部揃っているなんて思われたら全然話にならない。そういうことを意識改革していかねばならない。たとえば、必要になりそうな備蓄品は持ってきて下さいとかそういう風にしたほうが、そういう啓蒙になると思う。

○農家さんで発電機を持っている人に協力して貰って、あとはどうやって返すかなどを話し合って、用意しておけば一番良いことだと思う。

※消防法でガソリンを行政が用意できない。一度使うと劣化してしまう、毎年変えていかないといけない。そうしているうちにエンジンがだめになってしまう。

○虹が原については、1次避難所と2次避難所がある。それを今までとおりにやっていくのかがまず一つ。それと、避難してからの備蓄も全部が完璧でない。使えるものを利用して、どういうものが調達できているのかをきちんとやらねばならない。そして、避難難者がいる。そういう人たちをどうしていくか考えておかねばならない。